

24 森林ビジョンに基づく取組み

大目標：町内のすべての森が、何らかの方針のもとに管理されている。放置ゼロ！

森林ビジョンの3つの柱を達成するためにアクションプランに基づき、次の取組みを行います。

災害が少なく、安全・安心であること

地区森林ビジョン策定

予算額：2,992千円



「箕輪町森林ビジョン」を具現化するために、地区ごとにゾーニングや所有者の意向調査を行い、地区の森林ビジョンを策定し、森林整備の方向性を立てます。

災害学習会／災害軽減・緩衝帯整備講習

予算額：544千円【講習会費の内数】



集落への災害による被害を未然に軽減するため、CS立体図を読む学習会や河川や沢の倒木処理・野生動物との棲み分けのための藪払いなどを協働により実施します。

資源を育み、もたらすこと

森林整備講習会の開催

予算額：544千円【講習会費の内数】



森林整備に関わる地域住民向けに森林整備の目的からチェーンソーの使用法、伐採・下刈りなどの講習会を行います。

箕輪町の暮らしを彩り、支え、みんなが通いたくなる森であること

森林・木工体験

予算額：544千円【講習会費の内数】



森との関わりが少ない初心者向けに森林に関する基礎知識や木製品づくりなどの体験の場を設けます。

森との関わりづくりへの支援

【森づくり・活用事業補助金】 予算額：1,500千円



協働や住民主体による森づくりや森と親しむ機会を作り出す取組みに対し、補助金により支援します。
・森林を活用したイベント
・地域産材を使ったワークショップ
・町民が親しめる森林整備

森林のみどころ・楽しみ方一覧作成

景色をはじめ、山の楽しみ方やイベントなどを集約し、マップ等で一覧にして町民に広く周知し、町民の森へ関わるきっかけをつくります。

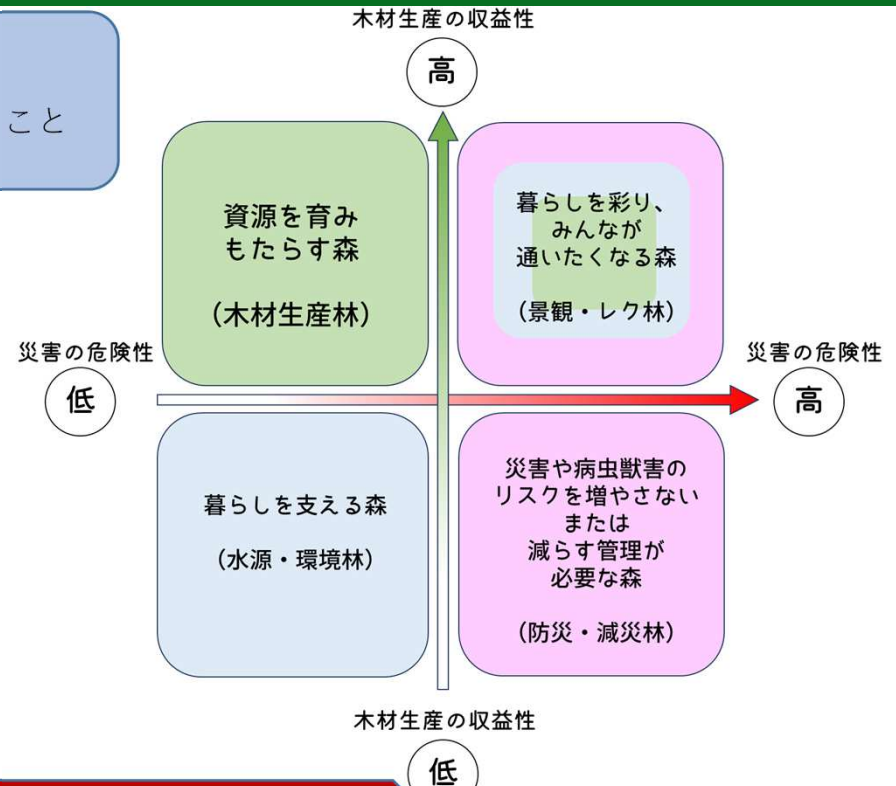
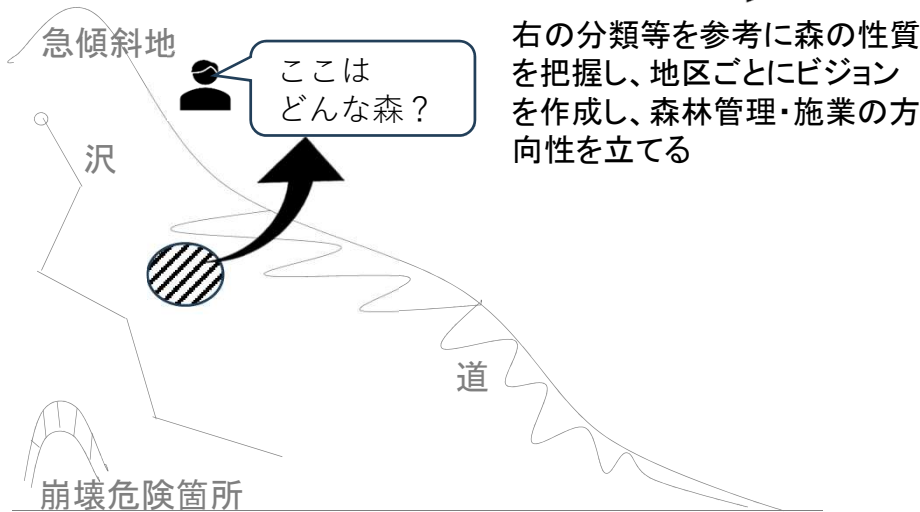


25 森林環境整備の取組み

○森林ビジョンの3つの柱

- ・災害が少なく、安全・安心であること
- ・箕輪町の暮らしを彩り、支え、みんなが通いたくなる森であること
- ・資源を育み、もたらすこと

森の性質を見極めた利用・管理



令和6年度取組み

| | |
|------------------------|---------------|
| ・地区森林ビジョンの策定 (3地区) | 2,992千円 (新規) |
| ・森林整備講習、森林・木工体験 | 544千円 (新規) |
| ・森づくり・活用事業補助金 | 1,500千円 (新規) |
| ・みんなで育てる箕輪の森づくり (植樹祭) | 390千円 (継続) |
| ・ペレットストーブ導入補助金 (10基分) | 2,000千円 (継続) |
| ・危険木等除去 (ライフライン・集落等) | 2,500千円 (継続) |
| ・分収林保育間伐 | 3,428千円 (継続) |
| ・森林整備事業補助金 (民間事業者への補助) | 4,326千円 (継続) |
| ・としまの森整備 (5年目) | 4,628千円 (継続) |
| ・森林環境基金の創設 | 11,044千円 (新規) |
| ・松くい虫伐倒燻蒸 (枯損木の処理) | 14,680千円 (継続) |

令和6年度以降取組み

- ・地区森林ビジョンの策定 (全15区)
 - ①地区ごとの森林ゾーニング図作成、所有者確認
 - ②森林所有者意向調査
 - ③地区森林ビジョンの策定 (現地調査・地区の検討会議)
 - ⇒ビジョンに基づく管理・施業の方向性を策定
 - 【目標：5年間で15区のビジョンを策定】
- ・災害リスクが高い箇所のリスク除去
- ・森林経営計画等に沿った施業・管理への支援
- ・地域材利用推進
- ・森へ関わる仕組みや体制づくり
- ・森林整備に関わる人材の育成
- ・野生動物とのすみ分けのための環境づくり